



国際センターだより

International Activities Center

「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせてぜひご一読ください。

News Pick Up !!

「技術基準の国際化セミナー」第2回を開催

国際センター・プロジェクトグループは2018年12月12日(水)に(独)国際協力機構と共催で「技術基準の国際化セミナー」第2回を土木会館講堂で開催をした。総参加者数は延べ39名であった。

今回のセミナーは「道路分野における維持管理技術の海外展開」と題し、高城信彦氏(大日本コンサルタント(株))より「途上国における道路・橋梁分野の維持管理への取り組み」、藤田仁氏(酒井重工業(株))より「途上国へのスタビライザー工法の技術移転」について、それぞれ発表いただいた。



2回目となるセミナー

プロジェクトグループではセミナー開催を通じて日本の土木技術の海外展開における各分野の「技術基準」適合の取り組み事例を引き続き紹介していく予定である。

若手技術者サロン 第1回を12月18日に開催

国際センター・教育グループでは2018年12月18日(火)に「若手技術者サロン ~第1回 トルコ オスマン・ガーズィー橋建設工事((株)IHIインフラシステム)~」を開催した。本企画は海外赴任経験のある若手技術者を講師として、若手の視点から海外プロジェクトの経験や苦勞について深く掘り下げ、参加者とのディスカッションの場として企画された。今回は(株)IHIインフラシステム様より、小野元嗣氏、田中剛氏を講師としてお迎えした。

当日は軽食をとりつつ和やかな雰囲気の中、講師によるオスマン・ガーズィー橋建設工事の紹介のち、海外生活の実情、仕事に対する海外と日本の違いなど、ざっくばらんな意見交換が行われた。予定していた終了時間が延びるほどサロンは大いに盛り上がった。



活発な意見交換が行われた

参加者のなかには海外勤務を志向している若手技術者も参加しており、実際に海外でのプロジェクトの実情や体験を聞くことができたことは、参加者にとって有益な場であったことがうかがえる。

本企画の詳しい報告については国際センター通信をご覧ください。

CECAR8 テクニカルセッションのご紹介

いよいよ来月4月16~19日に第8回アジア土木技術国際会議(CECAR8)が東京・池袋にて開催される。CECAR8では会期中の3日間、テクニカルセッションを開催する。約50のセッションが設けられ、約240編の論文が発表予定である。各国のキーパーソンによる発表や産官学の枠を超えた横断的なテーマセッションも予定している。各セッションの詳細についてCECAR8ウェブサイト(<http://www.cecar8.jp/>)のPreliminary Programをご参照いただきたい。



CECAR8ロゴ

Event Calendar

国際センターが企画するイベント(行事)については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

News Pick Up !! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は下記の学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail: iac-news@jsce.or.jp

- 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>
- 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
- Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>
- (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>